

【ねがいましては】

平成18年2月28日

第185号

KYOWA SCHOOL

「青春とは」

オリンピックも終わり、さまざまなドラマを残しました。中でも私の脳裏にこびりついて離れないのは、フィギュアスケートの安藤美姫選手の演技です。4回転ジャンプ、転んでも転んでもチャレンジする彼女の「勇気」に感動を覚えました。転ぶことは失敗すること。かっこ悪いこと。世界中の人たちが見ている前で、あえてチャレンジすることは、どれほどの「勇気」が要るのだろう。

まだ18歳の彼女は、人生で言えばこれからの段階です。ここに通う子たちの数年後の姿です。

私は、『恥をかくこと・負けること・失敗すること・・・・・・』そのどれもが人が成長する上で必要不可欠なものと思っています。成長過程にあるときにこそ、親の庇護のもとにあるときこそ、「負けること」は柔軟性を持って子の中に「心の栄養」として取り込まれるものと思っています。

子が学校で傷つき帰ってきたとき、その心を癒すのは「家族」です。彼らは痛手をこうむったその心のダメージの大きさに驚きますが、家族の温かい「手」が傷を癒すことを知り、改めて深い愛情に感動します。

人と人のつながりが、どれほど大切であるかを再認識します。さきほどの安藤さんも試合後、母の胸に顔をうずめてひとしきり泣いている光景が流されていました。母あってこそ出せた「勇気」であったのだな。母子の絆の深さを感じました。

ここ数日、地元の中学校では「高校入試・定期テスト」など、「合格・不合格・成績」などの避けて通れない現実の時が流れています。結果がすべてなのは、今の社会の中にある当たり前なこと。しかし、結果偏重主義が子どもたちの健全な「こころ」を奪い取ってしまっているような気がしてなりません。

あるとき、私は中学生たちに以下のようなことを話しました。

「定期テストが近づいてくると、一週間前から毎日来ても良いよって言っているけど、じゃあ毎日塾へ行けるから、机に向かうことは、塾へ行ってからでいいやって思っている人いないかな。それって考え方『逃げ』てないかい。

毎日行くのだから、積極的に動いているだろうって周りは思うかもしれないけれど、よく考えてみれば、自宅でもできることはたくさん見つかるはず、たとえば漢字練習、英単語練習、社会や理科のわからない単語拾い・・・・。いくらでも見つかるはず。どこかで『楽』をする自分を作り上げていないかい。自分によく聞いてみてくれないかな。もしそのような心が少しでもあったとしたら、私はとても悲しいです・・・・・・さて、今君たちは青春の中にいます。青春ってどのような生き方をする事なのか、ふたつ掲げます。ひとつめは逃げること。楽ができる場所があればそこに入り込み、そして楽をすること・・・・。ふたつめ、チャレンジすること、負けても負けても、転んでも転んでも、失敗しても失敗しても、心が前を向いていること。どっちが『青春』らしいかな・・・・。自然とこたえは見つかるはず・・・・。とにかく前を向こうよ・・・・。人生一回こっきり、あなた方がどう生きるかはあなた方自身が決めるんです。他人になんか決めさせないでくれ、そしてこの今の青春の時も、たった一回。逃げながら生きてきたのか、前を向いて生きてきたのか、たった一つの歴史があなたの人生に刻まれていきます。あなた方のたった一つの生きざまに歴史が刻まれます・・・・。修正などできません・・・・。精一杯生き切ってみようよ・・・・。どんなことでも前を向いて取り組んでみるんだ、どのようなことでも楽しくなるよ、本当なんだよ・・・・。』

ここには勉強に傷ついた子達が多く来ています。ほとんどがまじめさんばかりです。まじめだからこそ思い込みが大きく、「わたしはバカだ」と思い込んでしまっているのです。その気持ちを増長させているのが『家族』である場合が多くあります。テスト結果を見ての親の一言が効き目十分なのです。「わたしはバカだ」と思い込んでいる子のほとんどは、「さて、次は難しい問題だよ・・・・1たす1は?・・・・。」すると、すぐに答えないんですね。思い込みがありますので、裏に何かあるはずだと思い、考え込んでしまうんです。ここは止まり、逃げの気持ちで支配されています。そのような子たちに「人生楽しいですか。」と聞いても答えは決まっています。

さて君たち・・・・今回のテスト、精一杯に向かえたかい。向かえたのなら『100点』。けっして逃げの気持ちなどなかったかい。なければ『100点』。

子供時代にこそ、精一杯に向かう気持ちをしっかりと宿してあげられるような、そんな「こころ」を育てあげたいと思うのです。やがて本当の意味での『強さ』を身にまとい、力強く人生を謳歌すると思うのです。

わたしはあなた方のこころのとなりにそっと寄り添い、『精一杯』に拍手を送り続けたいのです。

安藤さんの4回転チャレンジ、100点マンテン！

君たちのひたむきな瞳に、100点マンテン！

と言いながら、持ってきた30点の答案に『ガクッ』、「たった今から精一杯だよ。」

「ハーイ！」・・・・・・聞こえるようです。